

2023年5月2日

2023年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第2回 5月上旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門 (植田)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

卵の出現数は前年より多く、平年より少なかった。

前年	2022年4月28日	(7点の平均)	13.8 個/m ³
前回	2023年4月18日	(7点の平均)	0.0 個/m ³
今回	2023年5月2日	(7点の平均)	14.9 個/m ³
※5月上旬の平年値			30.2 個/m ³

○カタクチイワシ仔魚の出現状況

仔魚の出現数は前年、平年より少なかった。

前年	2022年4月28日	(7点の平均)	0.1 尾/m ³
前回	2023年4月18日	(7点の平均)	0.0 尾/m ³
今回	2023年5月2日	(7点の平均)	0.0 尾/m ³
※5月上旬の平年値			3.2 尾/m ³

○プランクトン調査

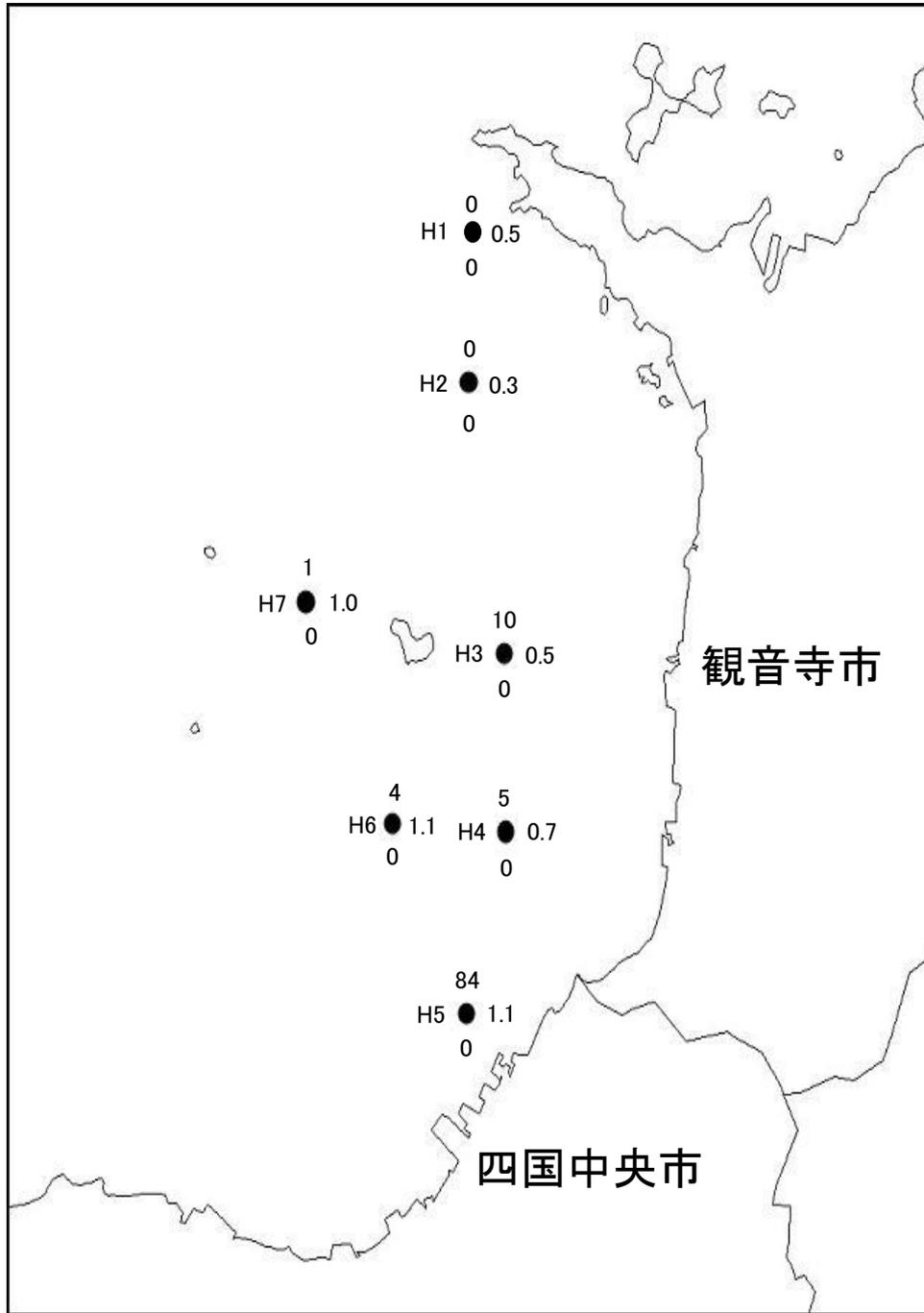
プランクトン量では、夜光虫(ノクチルカ)が多く見られた。
カタクチイワシの餌となるカイアシ類量は、前年、平年より多い結果となった。

○カブトクラゲ調査

本調査での出現は少なく、前年と同程度であった。

次回の調査は5月23日(火)に実施予定

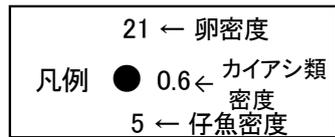
カタクチイワシ卵稚仔採集状況(2023/5/2)

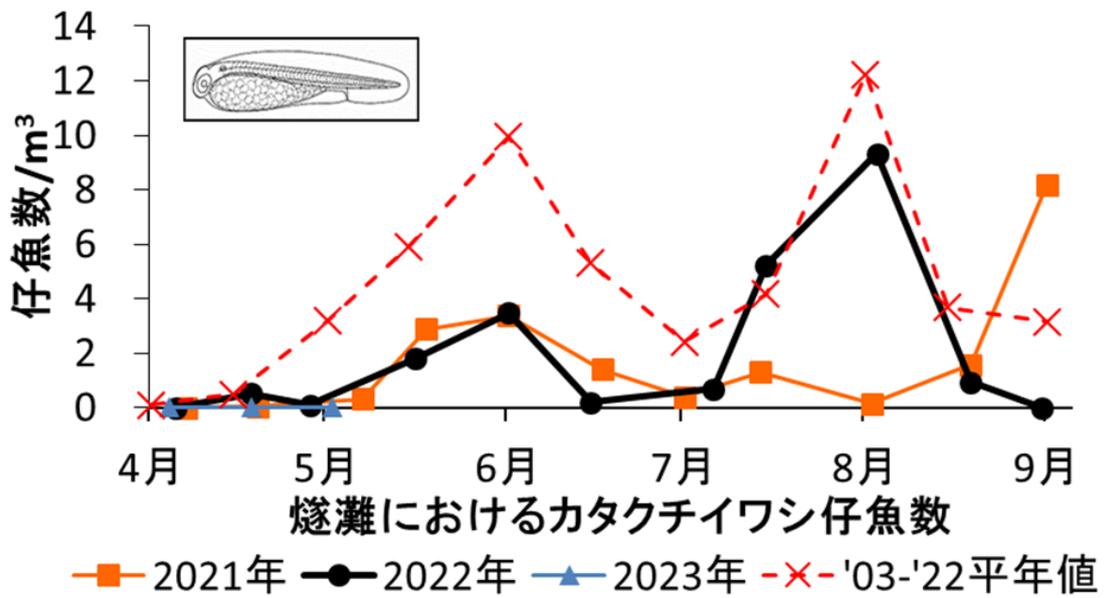
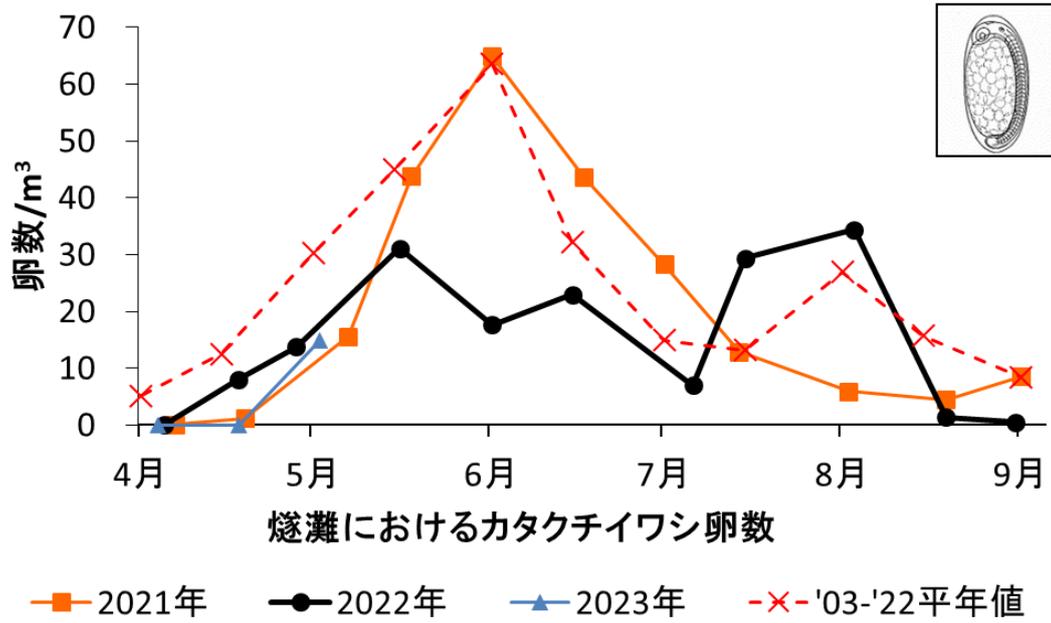


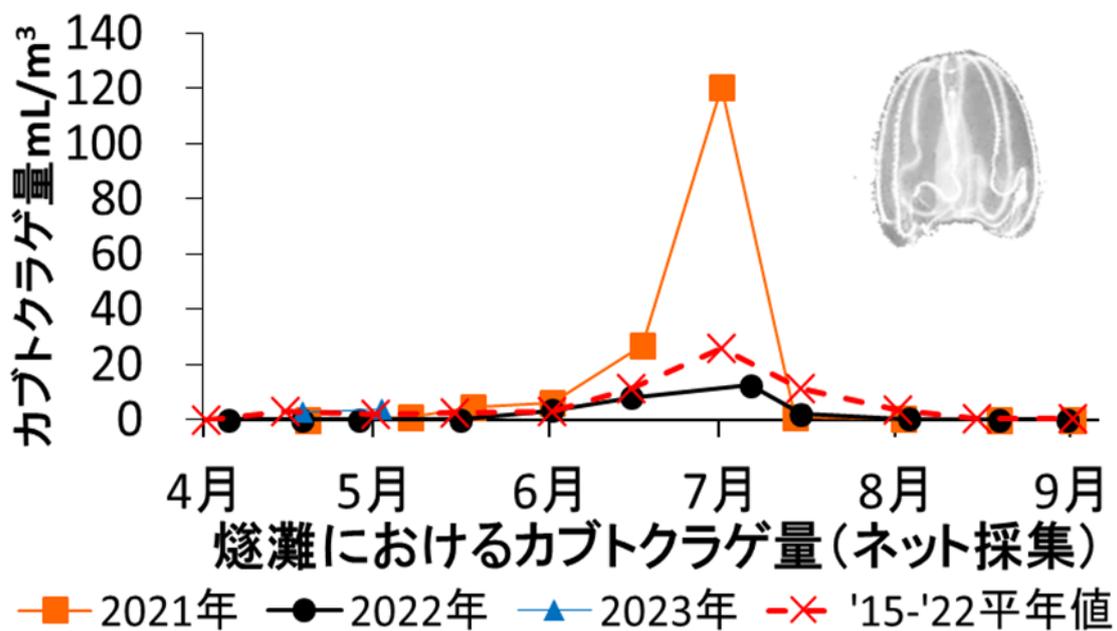
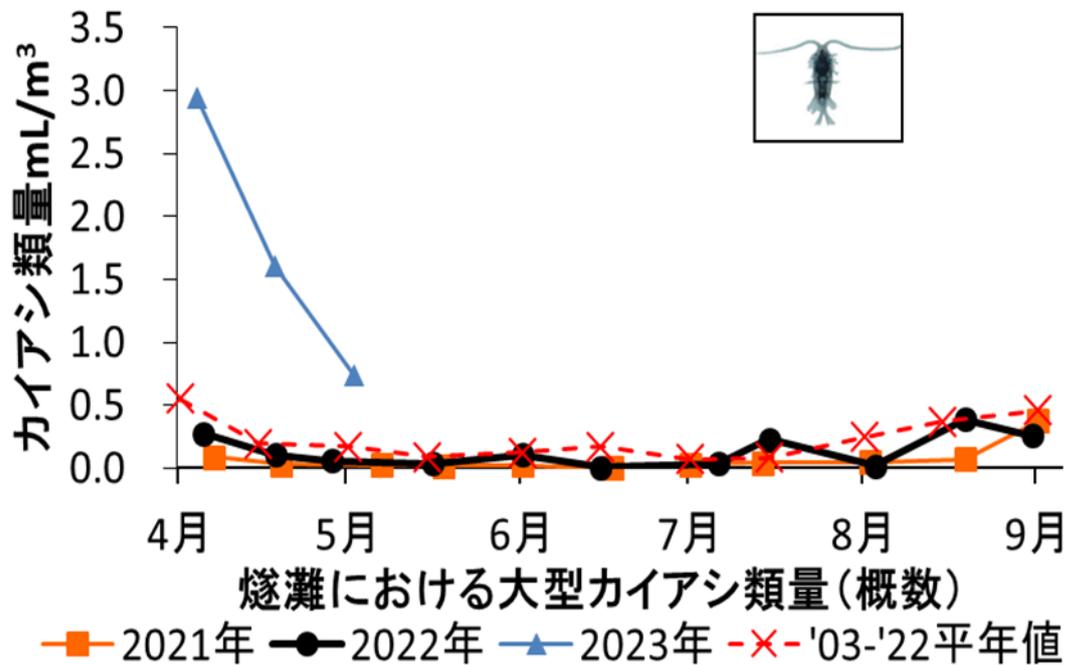
●の上側がカタクチイワシ卵密度(卵数/m³)を、
下側がカタクチイワシ仔魚密度(仔魚数/m³)を、
右側がカイアシ類密度(カイアシ類量ml/m³)を示す。

※カイアシ類量は、プランクトン採集量(0.335mm以上)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出した概算値。

※卵稚仔数は小数点以下第一位を四捨五入した値。







※カイアシ類量は、プランクトン採集量（沈殿量）に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。

※カブトクラゲは、丸特Bネットによる全定点の平均採集量。

※この報告の情報により不利益等が発生した場合において、水産試験場は何ら責任を負いません。

2023 年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査(2回目)

調査日: 2023/5/2

S T	曳網水深 (m)	表層水温 (°C)	カタクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カタクチ仔魚	マイワシ仔魚	その他稚仔
H1	20	15.6	1	0	4	0	0	0
H2	20	16.1	1	0	5	0	0	1
H3	20	16.1	30	0	4	0	0	1
H4	20	16.5	18	0	9	0	0	0
H5	20	16.5	262	0	45	0	0	1
H6	20	15.8	12	0	3	0	0	0
H7	20	15.6	3	0	3	0	0	0
平均		16.0	47	0	10	0	0	0

※卵稚仔数は採集数を示す。